

涌元古銭とは？

1. 涌元古銭とは

2006 年、知内町に住む工藤勇治氏が、知内町郷土資料館に寄贈したもので、佐々木馨監修『函館・渡島・檜山の歴史』(郷土出版社、2008 年)に紹介されているが、詳細は未報告である。

- ・銭種：27 種類 (現時点)
- ・組成：北宋銭から明銭までからなる。
- ・総計：997 枚
- ・最新銭：宣徳通宝 (1433 年初鑄)

2. 出土地



知内町全体図



出土地の上空写真



出土した古銭

3. 調査理由

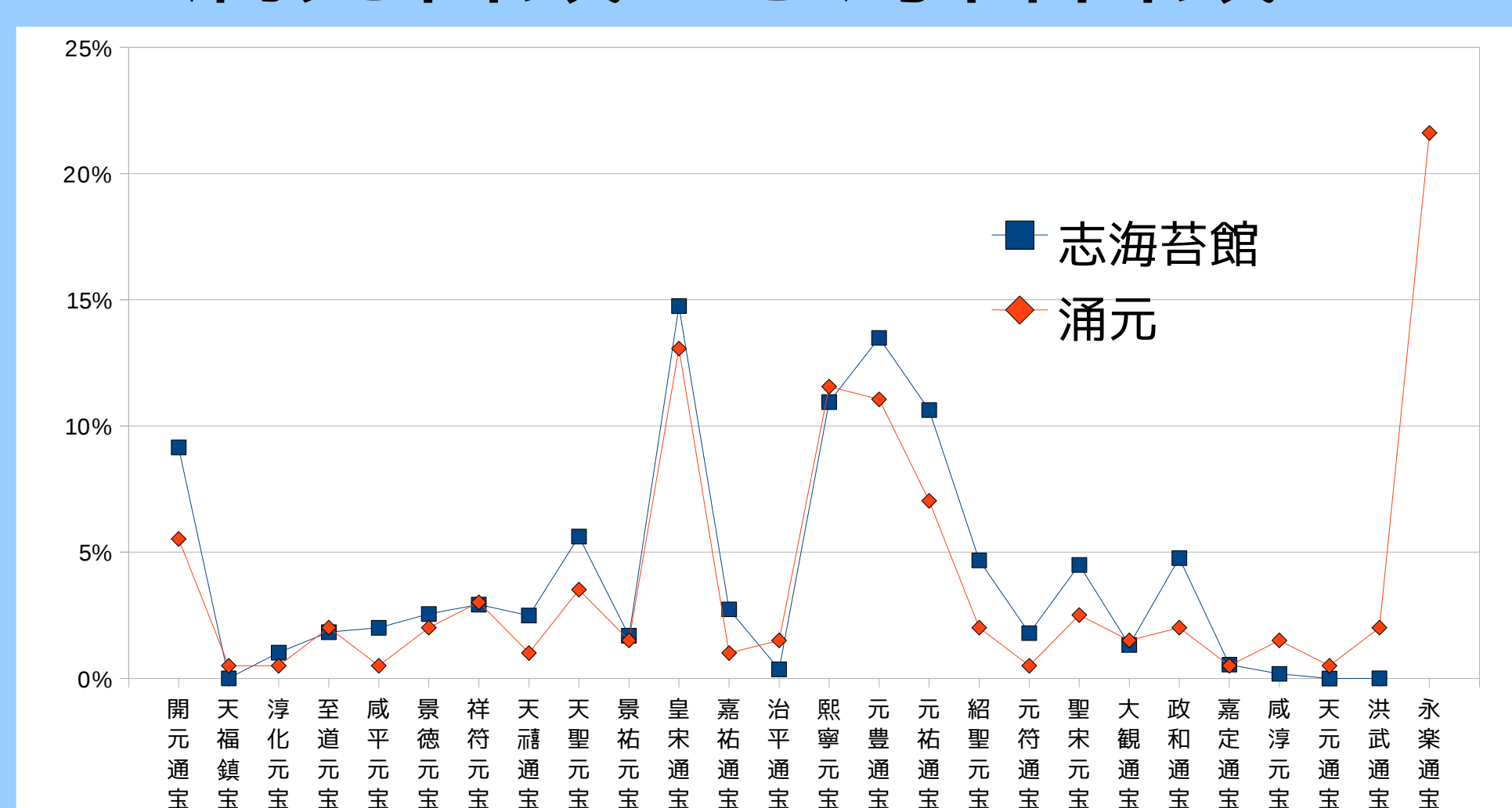
- 涌元古銭の銭種組成を調査する
→ 志海苔古銭の組成と比較し、二つの古銭の関係を明らかに。
- 涌き元古銭の成分を分析
→ 中国で鑄造された精銭か日本^{びたぜに}で模造された鑊銭かを解明する。

4. 調査方法

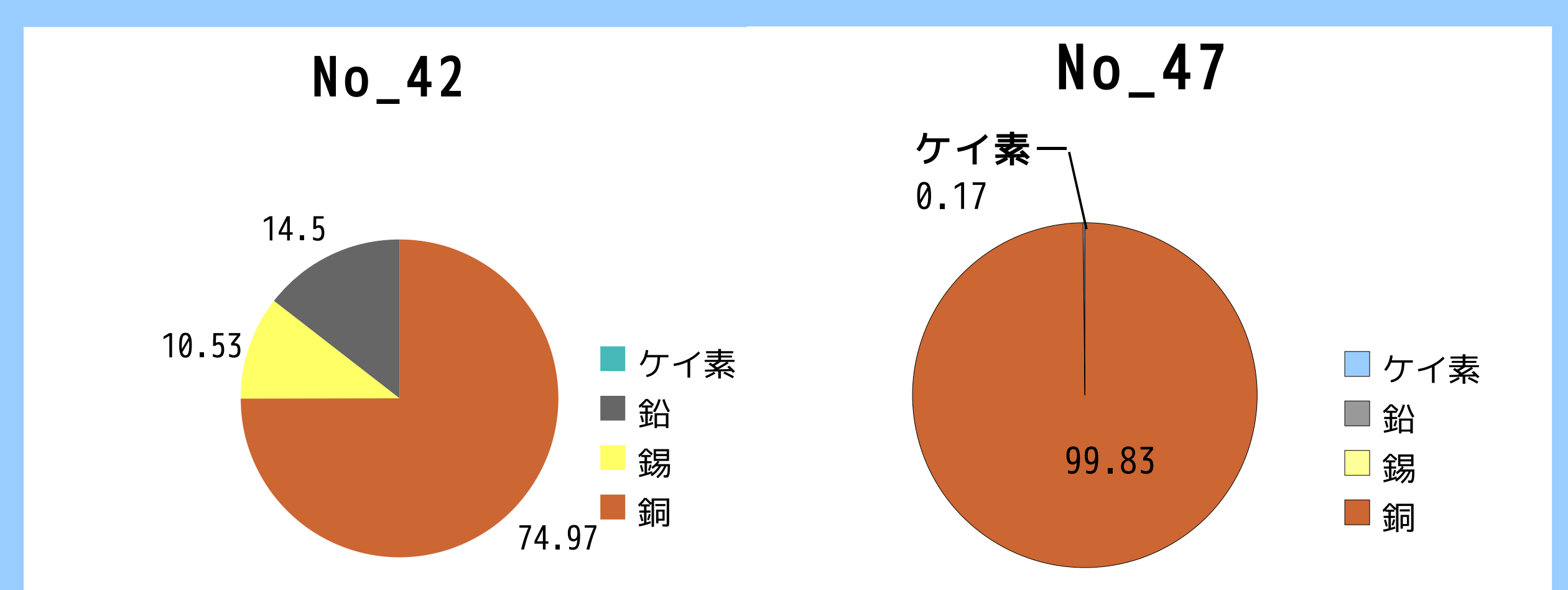
- ・涌元古銭の中から無作為に 200 枚の銭を抽出する。
- ・濡らした紙に墨をつけて銭の拓本を取る。
- ・参考資料と照合して銭の種類を確定する
- ・低真空分析走査電子顕微鏡で半定量分析する。

5. 結果

1. 涌元古銭の銭種組成 涌元古銭と志海苔古銭の比較



2. 永樂通宝の判定量分析の結果の比較



6. まとめ

- (1) 涌元古銭は永樂通宝の割合が高く、志海苔では出土していない。
- (2) 涌元と志海苔では銭種組成が酷似している。
- (3) 純銅に近い永樂通宝の出土が確認できた。
- (4) 宣徳通宝の発見により涌元館の滅亡時期を大まかに推定できる。